

屋根葺替工事 Vol.3

・こけら葺作業開始 2018. 3. 2

屋根のこけら葺作業が始まりました。まずは、飛雲閣と黄鶴台をつなぐ渡り廊下から行います。

しっかりと乾燥させた長さ約30cm、厚さ約3mmのサワラの板を重ね、竹釘を打ちつけて屋根を葺いていきます。工事現場には竹釘を打つ、トントンという音がリズムよく響き渡ります。植物性の竹釘は、鉄釘と比べ、こけら板との相性が良く、焙煎しているため耐久性が高いです。この後、棟の部分に瓦を葺いて渡り廊下の屋根は完成です。



▲ 渡廊下屋根の葺替



▲ こけら板 乾燥作業



竹釘

▲ こけら葺作業の様子